

2023年3月17日（技術カタログ公開日）

G-Pacs（電力設備常時遠隔監視システム） NITE（製品評価技術基盤機構）のスマート保安技術カタログに掲載

再生可能エネルギーの導入拡大やEV（電気自動車）化などで電力設備は増加傾向ですが、一方で少子化・高齢化による人手不足もあり、電気主任技術者をはじめとする電気設備の保守管理人材は減少しており、その対応が急務となっています。

この対策として当社は、特別高圧・高圧受変電設備の24時間遠隔監視システム（G-Pacs）を1986年※に開発し、電力設備点検方法と組み合わせ、「G-Pacs保障メンテナンス契約」としてお客さまに提案し、電気設備の保守業務の大幅な省力化を実現しております。

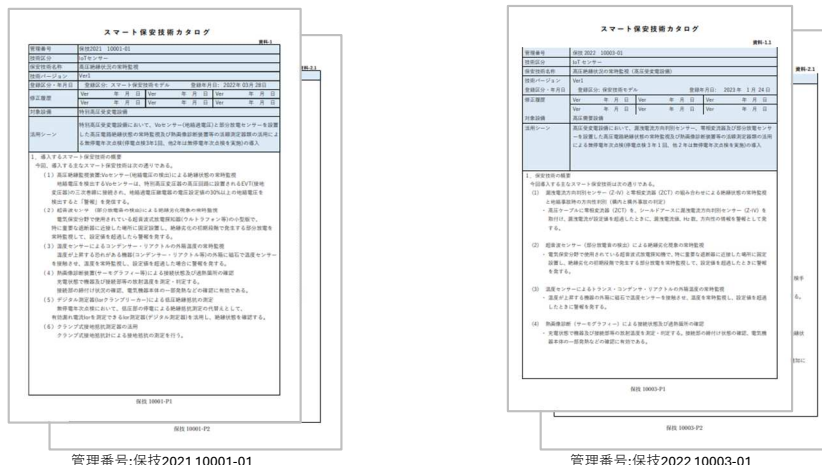
※ 1986年にCMS装置として開発し、その後、より機能を充実させ現在はG-Pacs装置として運用しております。

また、経済産業省もIoT や AI 等の新技術を利用したスマート保安技術の活用を推進しており、2022年から、国内の先進的なスマート保安技術や製品を登録した「スマート保安技術カタログ」がNITE（独立行政法人 製品評価技術基盤機構）より発行されています。

スマート保安技術カタログへのリンク

https://www.nite.go.jp/gcet/tso/smart_hoan_catalog.pdf

そしてこのたび、当社G-Pacsが、この「スマート保安技術カタログ」の第1号に加えて第6号案件として掲載されましたのでお知らせいたします。



当社G-Pacs保障メンテナンス契約は、スマート保安技術カタログでその妥当性・実効性を確認されたG-Pacs監視装置を用いた活線点検と数年に一度の停電点検により、毎年の停電点検作業を不要とするものです。

また、オペレーションセンターでの有人遠隔監視と緊急連絡も行うバックアップ体制も取り、従来以上にお客さまの電力設備の安心・安全が図れるよう努めております。

